

第 2 次 四 條 畷 市 行 財 政 改 革 プ ラ ン

(平成 2 9 年度～令和 3 年度)

令和 2 年度進捗評価シート

- | | | | | |
|------|----------|------------------------------------------------|-------|-----------------------|
| 区分A) | 全庁的取組み | 市民生活への影響が大きいものなど、特に重要な項目（半期に一度の評価） | 方針 1) | 公平、公正、適正な税等の負担と効率的な運営 |
| 区分B) | 課を超えた取組み | 部を超える、超えないに関わらず、複数の課で歩調を合わせて取り組むべき項目（四半期ごとの進捗） | 方針 2) | 費用対効果の更なる追及 |
| 区分C) | 各課の取組み | それぞれの課が取り組む項目（四半期ごとの進捗） | 方針 3) | 生産性の向上を趣旨とした業務の最適化 |

○進捗評価点（平成 2 9 年度は年間評価点）について

取組期ごとの、計画に基づいた取組の進捗に対する評価
 分母は3点×取組み期数、分子は取組み期ごとの評価点
 （四半期ごとの満点は3点、年間通じての取組みであれば、3点×4期で12点が分母となる）

- ・進捗評価点のつけ方
- 3点・・・「計画通り」
- 2点・・・「ほぼ計画通り」
- 1点・・・「計画通りに進んでいない」
- 0点・・・「未着手」

進捗評価点□(プラン全体)	250 / 372	進捗率	67%
(方針 1)	159 / 207	(方針 1)	77%
(方針 2)	40 / 87	(方針 2)	46%
(方針 3)	51 / 78	(方針 3)	65%

○目標評価点について

年度ごとに定めた目標値の達成度合いに対する評価（具体的数値目標を定めているもののみ評価対象）
 下記のとおり3点満点となる

- ・目標評価点のつけ方
- 3点・・・「目標値以上」
- 2点・・・「目標値の80%以上」
- 1点・・・「目標値の80%未満」
- 0点・・・「目標値の0%以下」

進捗評価点□(プラン全体)	23 / 30	進捗率	77%
(方針 1)	18 / 21	(方針 1)	86%
(方針 2)	3 / 3	(方針 2)	100%
(方針 3)	2 / 6	(方針 3)	33%

○第2次四條畷市行財政改革プランの目標と各年度実績

		(参考)	実績	実績	実績	実績	(参考)	備 考
		H28	H29	H30	R1	R2	H33の目標値	
I	実質収支黒字の堅持 ・実質収支額 ・実質収支比率	4.40億円 3.9%	3.74億円 3.2%	4.05億円 3.5%	4.22億円 3.6%	1.74億円 1.4%	4億円 3.9%	※平成28年度と同程度の額を維持が目標
II	基金残高の保持 ・財政調整基金年度末残高 標準財政規模に対する率 ・公共施設整備基金年度末残高	18.7億円 16.5% 13.0億円	15.9億円 13.8% 15.5億円	16.0億円 13.7% 20.5億円	18.1億円 15.4% 23.1億円	20.2億円 16.6% 25.2億円	19億円 16.5% 25億円	※目標達成には毎年2.4億円の積み増しが必要(公共施設整備基金)
III	経常収支比率の維持 (参考) ・全国平均 ・類似団体平均 ・府平均	93.5% 92.5% 93.8% 98.2%	94.0% 92.8% 94.0% 97.5%	95.1% 93.0% 93.7% 96.9%	96.9% 93.6% 93.9% 95.7%	95.3% - - -	93.5% - - -	※平成28年度決算と同程度の水準維持が目標
IV	実質公債費比率の堅持 (参考) ・全国平均 ・類似団体平均 ・府平均	6.8% 6.9% 6.9% 6.1%	6.1% 6.4% 6.6% 5.0%	5.6% 6.1% 6.4% 4.1%	5.6% 5.8% 6.3% 3.6%	5.8% - - -	6.6% - - -	※平成28年度決算時から下回ることが目標

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017)年度	H 3 0 (2018)年度	R 1 (2019)年度	R 2 (2020)年度	R 3 (2021)年度			
実施内容	<p>2019年度から徴収率目標を変更しています。 ※変更前は、2018年度のシートをご覧ください。</p> <p>徴収率の向上と滞納額の縮減により、負担の公平性と自主財源の確保を図る。</p> <p>※2016年度徴収率：96.5% 現年度 99.0% 滞納繰越分 33.8%</p>	目標	徴収率目標 96.9%	徴収率目標 97.3%	徴収率目標 現年度分 99.3% 滞納繰越分37.4%	徴収率目標 現年度分 99.4% 滞納繰越分38.6%	徴収率目標 現年度分 99.5% 滞納繰越分39.8%			
		目標効果額	調定額の0.4%の額	調定額の0.8%の額	調定額×下記の率の額 現年度分 : 0.3% 滞納繰越分 : 3.6%	調定額×下記の率の額 現年度分 : 0.4% 滞納繰越分 : 4.8%	調定額×下記の率の額 現年度分 : 0.5% 滞納繰越分 : 6.0%			
所管課	税務課及び徴収対策課	区分	B 課を超えた取組み	実施責任者	総務部長	評価者	副市長	評価周期	四半期ごと	
実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)			
今年度の目標			計画	電子収納の検討						
徴収率目標 現年度分 99.4% 滞納繰越分38.6%			① 納付方法の拡大及び検討 (電子収納の検討)	実績	電子収納の検討	電子収納の検討	電子収納の検討	電子収納の検討		
・徴収率向上のための対応策を随時実施			② 口座振替推進 (口座登録キャンペーン)	計画	キャンペーン周知・広報					
			実績	キャンペーン周知・広報	キャンペーン周知・広報	キャンペーン周知・広報	結果通知	終了		
目標効果額			③ 共同処理の実施 (機構活用)	計画	予告送付	引継	随時滞納整理の実施、公売実施		返還	
			実績	予告送付	引継ぎ	滞納整理実施	滞納整理実施	滞納整理実施		
実績効果額			④ 分納納付書(再発行納付書)共通化検討	計画			実施準備			
調定額×下記の率の額 現年：0.4% 滞納：4.8%			⑤	計画			R4実施に向け、テスト用帳票を予算要求	予算措置		
進捗評価点			目標未達成 (現年度分 98.6% 滞納繰越分 36.4%) ※全体97.4% 電子収納については、拡大傾向にあるが、手数料がコンビニ収納と同額であることから費用面と社会情勢のバランスが難しい。口座登録キャンペーンについては、効果が大きいとは考えづらく、検証不能のため終了。	進捗評価	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3
12 / 12			振り返り	コメント	予定通りの進捗		予定通りの進捗		予定通りの進捗	

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0

◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

		方針1	①・2	項目	国民健康保険料の徴収率向上								
5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017)年度	H 3 0 (2018)年度	R 1 (2019)年度	R 2 (2020)年度	R 3 (2021)年度						
実施内容	2019年度から徴収率目標を変更しています。 ※変更前は、2018年度のシートをご覧ください。		徴収率目標 77.2%	徴収率目標 79.2%	徴収率目標 現年度分 92.2% 滞納繰越分30.4%	徴収率目標 現年度分 92.3% 滞納繰越分31.6%	徴収率目標 現年度分 92.4% 滞納繰越分32.8%						
	徴収率の向上と滞納額の縮減により、負担の 公平性と自主財源の確保を図る。		・徴収率向上のための対応策を随時実施										
	※2016年度徴収率：76.9% 現年度 91.8% 滞納繰越分 26.8%		目標 効果額	調定額の0.3%の額	調定額の2.3%の額	調定額×下記の率の額 現年度分 : 0.4% 滞納繰越分 : 3.6%	調定額×下記の率の額 現年度分 : 0.5% 滞納繰越分 : 4.8%	調定額×下記の率の額 現年度分 : 0.6% 滞納繰越分 : 6.0%					
所管課	保険年金課及び徴収対策課		区分	B 課を超えた取組み	実施 責任者	健康福祉部長	評価者	副市長	評価 周期	四半期ごと			
令和2 (2020) 年度	実施内容と振り返り			月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)		
	今年度の目標			計画	予告送付	引継	随時滞納整理の実施、公壳実施					返還	
	徴収率目標 現年度分 92.3% 滞納繰越分31.6%			実績	予告送付	引継	滞納整理	滞納整理の実施	滞納整理の実施	滞納整理の実施	滞納整理の実施	返還・次 年度選定	
	・徴収率向上のための対応 策を随時実施			①	共同処理の実施(機構活用)								
				②	分納納付書(再発行納付書)共 通化検討			調査研究		事業案策定	実施準備		
				③	効果的な徴収方法の調査研究			未回答		課題点等の把握	R4実施に向け、テスト用帳 票を予算要求	予算措置	
				④	現年度保険料収納率の向上策の 実施			クレジット納付導入へベンダー替調整		庁内調整	予算要求	実施準備	
	目標効果額 実績効果額			⑤	現年度保険料収納率の向上策の 実施			口座振替勸奨(通年)		簡易申告送付	口座振替勸奨	簡易申告送付(2回目)	口座振替勸奨
	調定額×下記の 率の額 現年：0.5% 滞繰：4.8%			計画	実施	実施	実施	実施	8月送付済、随時窓口受付	広報、休日納付相談の実施	広報、休日納付相談の実施等		
	進捗評価点 目標評価点			計画	ほぼ計画通り		2	ほぼ計画通り		2	計画通り		3
10 / 12 2 / 3			実績										
進捗評価 目標評価			進捗 評価	ほぼ計画通り		2	ほぼ計画通り		2	計画通り		3	
目標未達成 (現年度分 94.3%(達成) 滞納繰越分 30.5%(未達成)) ※全体83.6% 関係課との事務効率化の推進と併せ、納 付勸奨及び納付相談を適宜実施し、滞納繰 越額の減少、収納率向上に努める。			コメ ント	分納納付書共通化について 業者との交渉を進めること			一部遅れがみられる部 分を巻き返すこと		予定通りの進捗		予定通りの進捗		

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017)年度	H 3 0 (2018)年度	R 1 (2019)年度	R 2 (2020)年度	R 3 (2021)年度					
実施内容	<p>2019年度から徴収率目標を変更しています。 ※変更前は、2018年度のシートをご覧ください。</p> <p>徴収率の向上と滞納額の縮減により、負担の公平性と自主財源の確保を図る。</p> <p>※2016年度徴収率 75・8% 現年度 96.5% 滞納繰越分 6.0%</p>	目標	徴収率目標 77.0%	徴収率目標 78.0%	徴収率目標 現年度分 97.7% 滞納繰越分20.5%	徴収率目標 現年度分 98.1% 滞納繰越分24.9%	徴収率目標 現年度分 98.5% 滞納繰越分30.3%					
		目標効果額	調定額の1.2%の額	調定額の2.2%の額	調定額×下記の率の額 現年度分 : 1.2% 滞納繰越分 : 14.5%	調定額×下記の率の額 現年度分 : 1.6% 滞納繰越分 : 18.9%	調定額×下記の率の額 現年度分 : 2.0% 滞納繰越分 : 24.3%					
所管課	子ども政策課及び徴収対策課	区分	B 課を超えた取組み	実施責任者	子ども未来部長	評価者	副市長	評価周期	四半期ごと			
実施内容と振返り			月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)		
今年度の目標			①	計画	契約	業者準備	導入	実績等の状況確認				
徴収率目標 現年度分 98.1% 滞納繰越分24.9% ・徴収率向上のための対応策を随時実施			年間実施項目	実績	契約	業者準備	導入	状況確認	状況確認		状況確認	
				②	計画	調査実施		事業案策定		実施準備		
目標効果額 実績効果額 2,274千円			振返り	実績	未回答		課題点等の把握		R4実施に向け、テスト用帳票を予算要求		予算措置	
				③	計画							
進捗評価点 目標評価点 10 / 12 3 / 3			振返り	④	計画							
				⑤	実績							
進捗評価点			進捗評価	ほぼ計画通り 2		ほぼ計画通り 2		計画通り 3		計画通り 3		
目標評価点			コメント	分納納付書共通化について業者との交渉を進めること		一部遅れがみられる部分を巻き返すこと		予定通りの進捗		予定通りの進捗		

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017)年度	H 3 0 (2018)年度	R 1 (2019)年度	R 2 (2020)年度	R 3 (2021)年度							
実施内容	2016年度末の滞納額から滞納額を30%縮減する。 (※2016年度末滞納額：53万円)	目標	目標残額 48万円	目標残額 43万円	目標残額 41万円	目標残額 39万円	目標残額 37万円							
		目標効果額	50千円	50千円	20千円	20千円	20千円							
		所管課	子ども政策課	区分	C 各課の取組み	実施責任者	子ども政策課長	評価者	行革担当部長	評価周期	四半期ごと			
実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)							
令和2(2020)年度	今年度の目標	年間実施項目	① 分納分の確実な徴収	計画	状況確認									
	目標残額 39万円		② 納付勧奨	実績	状況確認	状況確認	状況確認	状況確認						
	・徴収率向上のための対応策を随時実施		③	計画	催告・納付相談・分納誓約・支払督促									
				実績	納付相談(7月催告予定)	納付相談・催告・支払い督促	納付相談・支払督促取下げ	催告・納付相談						
	目標効果額		実績効果額	④	計画									
					実績									
	20千円		46千円	⑤	計画									
					実績									
	進捗評価点		目標評価点	振り返り	目標達成(残額24.2万円※1) 1件支払督促の申立を行った結果、仮執行宣言の申立に至る前に債務者からの支払いもあり、合計4.6万円の支払いがあり、残額が24.2万となったが、不納欠損額を考慮すると実質残額0となり、取組終了とする。 ※1 不納欠損を除く額。年度末実質最終残額は、残額24.2万円から不納欠損額(令和2年度の0.9万円、令和元年度の1.8万円及び平成30年度の21.5万円)を差し引き、0となった。	進捗評価	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3
	12 /12		3 /3		コメント	予定通りの進捗		予定通りの進捗		予定通りの進捗		予定通りの進捗		

○進捗評価：「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0

◆目標評価点：「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	R 1 (2019) 年度	R 2 (2020) 年度	R 3 (2021) 年度					
実施内容	<p>2019年度から徴収率目標を変更しています。 ※変更前は、2018年度のシートをご覧ください。</p> <p>徴収率の向上と滞納額の縮減により、負担の公平性と自主財源の確保を図る。</p> <p>※平成2016年度徴収率：89.0% 現年度 96.8% 滞納繰越分 8.5%</p>	目標	徴収率目標 90.0%	徴収率目標 90.2%	徴収率目標 現年度分 98.2% 滞納繰越分15.0%	徴収率目標 現年度分 98.5% 滞納繰越分22.0%	徴収率目標 現年度分 98.6% 滞納繰越分25.0%					
		目標効果額	調定額の1.0%の額	調定額の1.2%の額	調定額×下記の率の額 現年度分：1.4% 滞納繰越分：6.5%	調定額×下記の率の額 現年：1.7% 滞納繰越分：13.5%	調定額×下記の率の額 現年：1.8% 滞納繰越分：16.5%					
所管課	青少年育成課	区分	C 各課の取組み	実施責任者	青少年育生課長	評価者	行革担当部長	評価周期	四半期ごと			
令和2(2020)年度	実施内容と振返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)		
	今年度の目標		①	納付勧奨	計画	催告	催告	催告	催告			
	徴収率目標 現年度分 98.5% 滞納繰越分22.0%		年間実施項目	②	督促状は指導員が保護者へ直接交付	計画	督促状をふれあい指導員が手渡し					
	・徴収率向上のための対応策を随時実施			③	コールセンターの活用	計画	依頼	依頼	依頼	依頼	依頼	依頼
	目標効果額	実績効果額		④	口座振替の勧奨及び振替未納者への事前声掛け	計画	各ふれあい教室指導員が随時実施			各ふれあい教室指導員が随時実施		
	調定額×下記の率の額 現年：1.7% 滞納繰越分：13.5%	1,573千円		⑤	未納にならないための周知啓発	計画	周知			教室への掲示		
	進捗評価点	目標評価点		⑤	未納にならないための周知啓発	実績	未実施			新年度募集ポスターに記載し教室に掲示		
	進捗評価点	目標評価点	進捗評価	目標未達成 (現年 99.6% (達成) 滞納 19.4% (未達成)) ※全体92.9% 現年度の収納率が上がるほど、滞納は真に支払い困難と思われる世帯が増加し収納に結びつきづらく、コロナ渦により訪問での納付勧奨がでなかったため、滞納繰越分が未達成となる見込み	計画通りに進んでいない	1	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3
	10 /12	2 /3	コメント	コロナ渦でもあるが、状況に応じて未実施項目を実施していくこと			予定通りの進捗		予定通りの進捗		予定通りの進捗	

○進捗評価：「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0
 ◆目標評価点：「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017)年度	H 3 0 (2018)年度	R 1 (2019)年度	R 2 (2020)年度	R 3 (2021)年度					
実施内容	各所管課の債権（公債権・私債権）の徴収一元化を検討する。	目標	<ul style="list-style-type: none"> 研修による職員の徴収能力の向上 債権回収検討会議の実施 		<ul style="list-style-type: none"> 債権回収条例の制定 関係各課との調整 		調整が整い次第実施					
		目標効果額	検討後に設定	検討後に設定	-	-	-					
所管課	徴収対策課及びその他所管課	区分	B 課を超えた取組み	実施責任者 総務部長	評価者	副市長	評価周期 四半期ごと					
令和2(2020)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)		
	今年度の目標		① 条例策定	計画		条例(素案)策定		条例(案)策定		議会上程		
	<ul style="list-style-type: none"> 債権回収条例の制定 関係各課との調整 	年間実施項目	② 債権回収検討会議の実施	計画		会議実施		会議実施		策定		上程, 可決
			実績		実施		事前打ち合わせ	実施				実施
	目標効果額	実績効果額	③	計画								
			実績									
	-	-	④	計画								
			実績									
	進捗評価点	目標評価点	振り返り	債権回収検討会議を経て、債権管理条例を制定したことに加え、完成した債権回収整理マニュアルを活用し、必要に応じて徴収対策課が相談に応じながら、まずは最終的な強制執行等も視野にいれ、より適切な賦課、徴収を債権保有課で今後徹底していくこととしたため取組終了とする。	進捗評価	計画通り	3	ほぼ計画通り	2	ほぼ計画通り	2	
				コメント	予定通りの進捗	概ね予定通りの進捗	年度内に条例を制定すること					

○進捗評価：「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0
 ◆目標評価点：「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	R 1 (2019) 年度	R 2 (2020) 年度	R 3 (2021) 年度		
実施内容	債権回収業務の民間委託による徴収業務の効率化を検討する。	目標	・他市の状況調査	・費用対効果の検討 ・委託可能業務の検討		・費用対効果が見込める場合は、準備が整い次第実施			
		目標効果額	-	検討後に設定		-	-	-	
所管課	徴収対策課及びその他所管課	区分	B 課を超えた取組み	実施責任者	総務部長	評価者	副市長	評価周期	四半期ごと
実施内容と振返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)		
今年度の目標			① 費用対効果、委託内容の検討	計画	委託内容検討	費用対効果検証			
・費用対効果が見込める場合は、準備が整い次第実施			② 委託実施可否の判断、必要に応じた実施準備	実績	内容検討	調査中			
				計画		実施可否の判断	必要に応じて予算要求等、実施に向けた準備		
			③	実績	未判断	検討	必要なしと判断		
				計画					
			④	実績					
				計画					
目標効果額			⑤	実績					
実績効果額				計画					
-			実績						
進捗評価点			目標評価点	進捗評価	計画通り 3	計画通りに進んでいない 1	ほぼ計画通り 2	計画通り 3	
9 / 12			-	コメント	予定通りの進捗	実施検討可否判断に向けて必要な課題を解消していくこと	現状では費用対効果の算定は困難であり、委託にそぐわない	現状では費用対効果の算定は困難であり、委託にそぐわない	

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0

◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	R 1 (2019) 年度	R 2 (2020) 年度	R 3 (2021) 年度						
実施内容	口座振替納付の推進による、徴収業務の効率化を図る。	目標	70.0%	72.0%	77.0%	81.0%	85.0%						
		目標効果額	徴収率の向上に含まれる										
		目標	<ul style="list-style-type: none"> ・規則改正の検討 ・口座振替納付の勧奨 	<ul style="list-style-type: none"> ・口座振替納付の勧奨 ・規則改正の実施 ・保護者への通知 	<ul style="list-style-type: none"> ・原則口座振替での納付依頼を実施 								
所管課	子ども政策課	区分	C 各課の取組み	実施責任者	子ども政策課長	評価者	行革担当部長	評価周期	四半期ごと				
令和2(2020)年度	実施内容と振返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)			
	今年度の目標	年間実施項目	①	口座振替納付の勧奨	計画	通知送付				通知送付			
	81.0%		②	ペイジー口座振替受付サービスの導入	計画	契約	業者準備	導入	実績等の状況確認				
	・原則口座振替での納付依頼を実施		③		計画								
			④		計画								
	目標効果額		実績効果額	⑤		計画							
	徴収率の向上に含まれる	-			実績								
	進捗評価点	目標評価点	振返り	目標達成(令和2年度3月末の口座登録率85.1%) ペイジー口座振替受付サービスを導入し、口座振替を登録しやすい環境を整えた。	進捗評価	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3
	12 /12	3 /3	コメント			予定通りの進捗		予定通りの進捗		予定通りの進捗		予定通りの進捗	

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017)年度	H 3 0 (2018)年度	R 1 (2019)年度	R 2 (2020)年度	R 3 (2021)年度					
実施内容	クレジット納付の導入により、利便性の向上及び徴収業務の効率化を図る。	目標	・庁内及び関係機関との調整 ・対象税目（市税）の確定	・実施（市税）	・検証（市税）	・庁内調整及び関係機関との調整 ・導入に向け対象を確定	・実施					
		目標効果額	徴収率の向上に含まれる									
所管課	税務課及びその他所管課	区分	B 課を超えた取組み	実施責任者	総務部長	評価者	副市長	評価周期	四半期ごと			
令和2（2020）年度	今年度の実施内容と振り返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)		
	今年度の目標		①	関係機関と調整		計画	ベンダー替の調整		予算要求			
	・庁内調整及び関係機関との調整 ・導入に向け対象を確定	年間実施項目	②	庁内調整（他課実施分）		計画	庁内調整（他課実施分）					
			実績				保険年金と協議	保険年金と協議	保険年金と協議	保険年金と協議	移行調整及び予算措置	
	目標効果額	実績効果額	③	納付方法の拡大及び検討（電子収納の検討）		計画	電子収納の検討					
			実績				電子収納の検討	電子収納の検討	電子収納の検討	電子収納の検討		
	徴収率の向上に含まれる	32千円	④			計画						
			実績									
	進捗評価点	目標評価点	⑤			計画						
			実績									
進捗評価	目標評価	進捗評価	計画通り		3	計画通り		3	計画通り		3	
12 /12	-	コメント	現行の公金収納サービスが終了する令和3年度末以降スムーズな移行のため、ベンダー替の調整中であり、合わせて国保料、滞納分でも利用できるよう到来年度以降も調整していく。また、年間実施項目③については、方針1①でも取り組んでいるため本項目からは削除。		予定通りの進捗		予定通りの進捗		予定通りの進捗		予定通りの進捗	

○進捗評価：「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0
 ◆目標評価点：「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017)年度	H 3 0 (2018)年度	R 1 (2019)年度	R 2 (2020)年度	R 3 (2021)年度		
実施内容	ペイジー等の導入による利便性の向上と徴収業務の効率化を検討する。	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・費用対効果等の検討 ・共通納税システムの動向把握 		<ul style="list-style-type: none"> ・費用対効果が見込める場合は、準備が整い次第実施 				
		目標効果額	徴収率の向上に含まれる						
所管課	税務課及びその他所管課	区分	B 課を超えた取組み	実施責任者	総務部長	評価者	副市長	評価周期	四半期ごと
令和2(2020)年度	実施内容と振返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)		
	今年度の目標		① 共通納税システムの動向把握	計画	国等の通知や説明会で動向の把握				
	<ul style="list-style-type: none"> ・費用対効果が見込める場合は、準備が整い次第実施 	年間実施項目	② 費用対効果等の検討	計画				国等の動向により必要となった時点から検討	
			③ 電子収納の導入検討	計画	電子収納の検討				
			④	計画					
			⑤	計画					
	目標効果額	実績効果額							
	徴収率の向上に含まれる	-							
	進捗評価点	目標評価点	電子収納については、拡大傾向にあるが、手数料がコンビニ収納と同額であることから費用面と社会情勢のバランスが難しい。共通納税システムについては令和5年度以後課税分について、以降対象税目の拡大案が発表された。	進捗評価	計画通り 3	計画通り 3	計画通り 3	計画通り 3	
	12 /12	-		コメント	予定通りの進捗	予定通りの進捗	予定通りの進捗	予定通りの進捗	

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	R 1 (2019) 年度	R 2 (2020) 年度	R 3 (2021) 年度				
実施内容	<p>【旧項目】「し尿処理(浄化槽汚泥)手数料の徴収」が完了したため、2019年度から項目及び実施内容を変更しました。 ※変更前の実施内容は、2018年度のシートをご参照ください。</p> <p>下水道使用料負担の公平性の確保を図るため、下水道処理区域内での水洗化を促進する。 (※2018年度末 未接続世帯387件)</p>	目標	<p>【旧項目】「し尿処理(浄化槽汚泥)手数料の徴収」での実施目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他市事例の研究 	<ul style="list-style-type: none"> ・有料化についての検討 	未接続世帯数 377件	未接続世帯数 362件	未接続世帯数 347件				
		目標効果額	-	検討後に設定	120千円	240千円	360千円				
		所管課	下水道課	区分	C 各課の取組み	実施責任者	下水道課長	評価者	行革担当部長	評価周期	四半期ごと
実施内容と振返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)				
令和2(2020)年度	今年度の目標		①	下水道接続指導制度に係る運用基準について庁内組織での検討	計画	立ち上げ	基準決定				
	<ul style="list-style-type: none"> ・未接続家屋等への啓発 ・状況が整い次第、下水道法第38条第1項に基づく措置命令の検討、実施 	年間実施項目	②	下水道接続指導制度に係る運用基準の決定	実績	不要とした	基準決定				
					計画		運用基準の検討	内部調整			
	<p>目標効果額</p> <p>240千円</p>	<p>実績効果額</p> <p>213千円</p>	③	未接続世帯等への下水道接続指導制度の周知	計画		検討	内部調整			
					実績						
	<p>年間評価点</p> <p>10 /12</p>	<p>目標評価点</p> <p>3 /3</p>	振返り	<p>本制度に関する内容をHPに掲載し周知するとともに、未接続世帯には個別通知を送付した。本年度は13件下水道への接続をしていただいた。(未接続世帯数 357件)</p>	計画						
					実績						
			進捗評価	進捗評価	ほぼ計画通り 2	ほぼ計画通り 2	計画通り 3	計画通り 3			
			コメント	コメント	適切な運用基準を作成していくこと	概ね予定通りの進捗	予定通りの進捗	予定通りの進捗			

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	R 1 (2019) 年度	R 2 (2020) 年度	R 3 (2021) 年度						
実施内容	一般家庭ごみに係る処理手数料について検討する。	目標	・他市の状況調査	・粗大ごみ一部有料化に伴う減量効果についての検証	・有料化についての課題抽出 ・近隣市の状況把握	・検証結果等をもとに、一般ごみ有料化についての方向性を検討							
		目標効果額	-	-	-	-	-						
		所管課	生活環境課	区分	C 各課の取組み	実施責任者	生活環境課長	評価者	行革担当部長	評価周期	四半期ごと		
実施内容と振返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)						
令和2(2020)年度	今年度の目標		年間実施項目	① 課題の整理と抽出	計画	課題整理及び抽出							
	・検証結果等をもとに、一般ごみ有料化についての方向性を検討			② 有料化の在り方検討	計画				有料化の在り方検討				
				実績	課題整理及び抽出		課題整理及び抽出						
				③	計画								
				実績									
				④	計画								
	目標効果額	実績効果額		⑤	計画								
	-	6,071千円		実績									
	進捗評価点	目標評価点		振返り	進捗評価	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3
	12 /12	-		ごみの有料化実施済の他市視察結果等を基により深く有料化の在り方を検討したが、次年度以降、一般ごみより、まず粗大ごみ完全有料化の検討を実施したい。	コメント	予定通りの進捗		予定通りの進捗		予定通りの進捗		予定通りの進捗	

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017)年度	H 3 0 (2018)年度	R 1 (2019)年度	R 2 (2020)年度	R 3 (2021)年度		
実施内容	市役所の駐車場等、使用料を徴収していない施設の有料化を検討する。	目標	・他市事例の研究	・有料化を検討すべき施設の抽出	・抽出した施設の費用対効果の検討	・費用対効果が見込める施設については、準備が整い次第実施			
		目標効果額	-	-	-	-	-		
所管課	施設再編室及びその他所管課	区分	A 全庁的取り組み	実施責任者	行革担当部長	評価者	行革推進本部	評価周期	半期ごと
実施内容と振返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)		
令和2(2020)年度	今年度の目標		① 費用対効果の検証	計画	費用対効果の検証				
	・費用対効果が見込める施設については、準備が整い次第実施	年間実施項目	①	実績	未実施		業者打合わせ	業者見積徴収	業者検討中断
				② 対象施設所管課との調整	計画	庁内調整			
			実績	未実施					
			③ 実施判断	計画			実施判断		
			実績			未実施		中断	
	④ 実施する場合の周知	計画	実施に向けた周知						
	実績	未実施							
	目標効果額	実績効果額	⑤ 実施する場合の予算要求	計画			予算要求		
	-	-	実績				未実施		
進捗評価点	目標評価点	振返り	進捗評価	未着手 0	計画通りに進んでいない 1	計画通りに進んでいない 1	計画通りに進んでいない 1		
3 /12	-		コメント	コロナ渦でもあり遅れが生じているが、業者との打ち合わせをきっかけとし、進めていくこと		見積もり徴収は実施できたものの、コロナ渦で業者側が検討不可となり、検討が中断しているが、次年度以降様子を見て進めていくこと			

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017)年度	H 3 0 (2018)年度	R 1 (2019)年度	R 2 (2020)年度	R 3 (2021)年度		
実施内容	新たな税外収入及び既存収入増加策について検討する。	目標	・他市事例の研究 ・本市で実施可能な項目を抽出	・費用対効果の検討 ・関係機関調整	・準備が整い次第実施				
		目標効果額	-	検討後に設定	-	-	-		
所管課	財政課及びその他所管課	区分	A 全庁的取組み	実施責任者	行革担当部長	評価者	行革推進本部	評価周期	半期ごと
実施内容と振返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)		
令和2(2020)年度	今年度の目標		① 実施可能項目の精査	計画	項目精査				
	・準備が整い次第実施	年間実施項目	② 実施可能項目にかかる他市事例の調査	計画	実施済及び予定事業の財源確保策の検討				
			③ 関係機関調整	計画	他市事例の研究				
			④ 規程の整備	計画		調査中			
			⑤	計画	関係機関及び庁内調整				
			⑤	計画	調査結果による課内での情報共有				
	目標効果額	実績効果額	⑤	計画					規程の整備
			⑤	実績					未実施
	進捗評価点	目標評価点	振返り	進捗評価	計画通りに進んでいない 1	ほぼ計画通り 2	計画通りに進んでいない 1	計画通りに進んでいない 1	
	5 / 12	-		コメント	コロナ渦でもあり遅れが生じているが、近隣市のみならず、幅広く事例調査等を実施していくこと	今年度の調査結果について次年度以降庁内調整をすすめること			

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

		方針1	③・2	項目	都市計画税課税区域の見直し				
5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017)年度	H 3 0 (2018)年度	R 1 (2019)年度	R 2 (2020)年度	R 3 (2021)年度		
実施内容	都市計画施設である下水道が整備されている地域のうち、都市計画税が課税されていない地区への課税を検討する。	目標	2019年度からの 実施項目			・条例案の検討	・条例改正及び周知		
		目標効果額				-	-	-	・状況が整い次第、条例案の検討、改正及び周知
所管課	税務課	区分	C 各課の取組み	実施責任者	税務課長	評価者	行革担当部長	評価周期 四半期ごと	
実施内容と振返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)		
令和2 (2020) 年度	今年度の目標		① 課題抽出と解消に向けて協議	計画	課題抽出	課題整理	課題の解消に向けて庁内関係課と協議		
				実績	課題抽出	課題抽出の解決に向けた調査	協議終了	協議終了	
	・状況が整い次第、条例案の検討、改正及び周知		年間実施項目	②	計画				
				③	実績				
	目標効果額		実績効果額	④	計画				
					実績				
	-		-	⑤	計画				
					実績				
	進捗評価点	目標評価点	振返り	調査した結果、地方税法上、下水道が整備されていることを理由とした課税が問題ないとは言いきれない。判例もなく、国、府の見解としてもおそらく厳しいとのことであり、非常にリスクが大きいため、取組終了とする。	進捗評価	計画通り 3	計画通り 3	計画通り 3	計画通り 3
	12 /12	-		コメント	予定通りの進捗	予定通りの進捗	予定通りの進捗	予定通りの進捗	

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	R 1 (2019) 年度	R 2 (2020) 年度	R 3 (2021) 年度		
実施内容	社会情勢の変化や多様化する市民ニーズに即した活用を図るため、特定目的基金の整理、再編について検討する。	目標	・他市事例の研究	・庁内検討 ・対象基金の関係者等との調整	・条例改正等を実施	・整理、再編の実施			
		目標効果額	-	検討後に設定	-	-	-		
所管課	財政課及びその他所管課	区分	A 全庁的取組み	実施責任者	行革担当部長	評価者	行革推進本部	評価周期	半期ごと
令和2(2020)年度	実施内容と振返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)		
	今年度の目標		①	【公共施設整備基金】 今後の基金の在り方を検討	計画 実績	課題整理 課内検討			
	・整理、再編の実施	年間実施項目	②	【退職手当基金】 今後の基金の在り方を検討	計画 実績	課題整理 課内検討			
			③	条例等(案)の策定	計画 実績		条例及び規則(案)策定 未着手		
			④	条例(案)の上程	計画 実績			上程 未着手	
			⑤		計画 実績				
	目標効果額	実績効果額		-	-				
	進捗評価点	目標評価点	振返り	課内での検討はしたが、コロナ禍に伴う業務の優先順位の結果、次年度に対応することとした。	進捗評価 計画通り 3 コメント コロナ禍でもあり遅れが生じているが、庁内調整等を経て条例上程に向けて進めること	計画通りに進んでいない 1	未着手 0	未着手 0	
	4 / 12	-							

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017)年度	H 3 0 (2018)年度	R 1 (2019)年度	R 2 (2020)年度	R 3 (2021)年度		
実施内容	技能労務職への行政職給与表（二）導入などを検討する。	目標	・他市事例の研究	・現業職のあり方の検討	・検討結果を踏まえた調整を行う。				
		目標効果額	-	検討後に設定	-	-	-		
所管課	人事室及びその他所管課	区分	B 課を超えた取組み	実施責任者 総務部長	評価者 副市長	評価周期 四半期ごと			
実施内容と振返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)		
令和2(2020)年度	今年度の目標		① 技能労務職の職のあり方検討	計画	業務の見直し及び全庁的な協力体制について協議を実施		庁内協議	組合協議	採用計画反映
	・検討結果を踏まえた調整を行う。			実績	未実施		庁内協議	他市状況調査	組合交渉
			②	計画					
	③	計画							
		④	計画						
	⑤		計画						
		目標効果額	実績効果額						
	進捗評価点	目標評価点	振返り	他市の状況調査を行い、各団体において、直営・委託の状況を把握した。これを基に、業務のあり方について検討していきたい。	進捗評価	未着手 0	計画通り 3	計画通り 3	未着手 0
	6 /12	-	コメント	コロナ渦でもあり未実施だが、状況に応じて実施に努めること		予定通りの進捗	予定通りの進捗	組合協議等の難題はあるが、引き続き検討を続けること	

○進捗評価：「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0
 ◆目標評価点：「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017)年度	H 3 0 (2018)年度	R 1 (2019)年度	R 2 (2020)年度	R 3 (2021)年度					
実施内容	より効率的な事業実施の指標とするため、複式簿記を用いた事業別コスト計算書の作成を行う。	目標	・電算事業者との調整 ・課題抽出	・電算事業者との調整 ・職員研修の実施 ・処理マニュアルの作成	・実施							
		目標効果額	-	-	-	-	-					
所管課	財政課及び会計課	区分	B 課を超えた取組み	実施責任者	総務部長	評価者	副市長	評価周期	四半期ごと			
令和2(2020)年度	実施内容と振返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)		
	今年度の目標		①	事業別コスト計算による調書作成(モデル事業)	計画					調書作成(上半期)		
	・実施	年間実施項目	②	コスト計算書についての職員向け説明会	計画					業者との調整		
					実績							説明会
					計画							
					実績							
					計画							
	目標効果額	実績効果額	④		計画							
	-	-			実績							
	進捗評価点	目標評価点	⑤		計画							
1 / 6	-	振返り	システムの問題等で、事業別コスト計算等の実施はできていない	進捗評価					計画通りに進んでいない	1	未着手	0
		コメント							業者との調整、前段となる財務書類の作成を進めること		業者との調整、前段となる財務書類の作成を進めること	

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	R 1 (2019) 年度	R 2 (2020) 年度	R 3 (2021) 年度			
実施内容	入札の多様化に伴い、入札方法選択基準の策定を行う。	目標	・ 市内現状把握 ・ 他市事例の研究	・ 選択基準の策定に係る市内調整	・ 入札方法選択基準の策定					
		目標効果額	-	-	-	-	-			
		所管課	総務課及びその他所管課	区分	A 全庁的取組み	実施責任者	行革担当部長	評価者	行革推進本部	評価周期
実施内容と振返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)			
令和2(2020)年度	今年度の目標		年間実施項目	① 総合評価落札方式(工事・委託)指針の策定・発出	計画	指針検討	視察	素案策定	発出準備	
	・ 入札方法選択基準の策定	② 入札方法選択基準の策定		計画	情報収集	課内たたき台作成	未実施	未実施		
		③		計画	調査準備・視察	素案策定	基準策定			
	目標効果額	実績効果額		④	計画	資料収集	未実施	未実施		
				⑤	計画					
	進捗評価点	目標評価点		振返り	所要の要綱改正は行えたが、コロナ渦ということもあり、総合評価落札方式等の策定にまで至っていない。	進捗評価	計画通りに進んでいない 1	計画通りに進んでいない 1	未着手 0	未着手 0
	2 / 12	-		コメント	コロナ渦でもあり遅れが生じているが、計画的に進めること			コロナ渦でもあるが、昨年度より停滞しているため、計画的に進めること		

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017)年度	H 3 0 (2018)年度	R 1 (2019)年度	R 2 (2020)年度	R 3 (2021)年度										
実施内容	電気設備、消防設備、空調設備など、施設保守にかかる業務の包括委託化を検討する。	目標	・庁内現状把握 ・他市事例の研究	・実施に向けての庁内調整	施設の契約更新の時期に合わせて、可能なものから順次実施												
		目標効果額	-	検討後に設定	-	-	-										
		所管課	施設再編室	区分	C 各課の取組み	実施責任者	施設再編室課長	評価者	行革担当部長	評価周期	四半期ごと						
実施内容と振返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)										
令和2(2020)年度	今年度の目標		年間実施項目	①	対象業務の選定(業者からの見積もり徴取及び先進市への聞き取り)	計画	聴き取り及び見積もり徴取										
	施設の契約更新の時期に合わせて、可能なものから順次実施	②		①の効果検証、実施判断	計画		業者ヒアリング		対象契約の精査								
				実績			①の効果検証及び実施判断										
	③	仕様書案作成及び実施準備		計画					関係課との調整	仕様書案作成	実施準備						
				実績					未実施	成果連動断念、課題、方向性抽出	未実施	未実施					
	目標効果額	実績効果額		④	計画												
					実績												
	-	-		⑤	計画												
					実績												
	進捗評価点	目標評価点		振返り	進捗評価	本年度は、成果連動型民間委託導入として、市庁舎の業務について事業者と検討を行ってきたが、現状の契約において一定の成果が上がっているため、事業者から参入できないとの回答があり、成果連動型については期待できない。今後は、公共施設の再編の同行を注視しつつ、スケールメリットが働く件数を確保していく必要がある。	計画通りに進んでいない	1	計画通りに進んでいない	1	計画通りに進んでいない	1	未着手	0			
3 / 12	-	コメント	コロナ渦でもあり遅れが生じているが、状況に応じて実施に努めること		段階を踏んで方向性を固めていくこと	施設再編の同行を注視しつつ、方向性の具体化を検討すること	施設再編の同行を注視しつつ、方向性の具体化を検討すること										

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017)年度	H 3 0 (2018)年度	R 1 (2019)年度	R 2 (2020)年度	R 3 (2021)年度		
実施内容	※2018年度の目標のうち実施できなかった低圧電力及びガスの入札については、2019年度に行います。	目標			【2018年度未実施の取組みを				
	平成30年度の電力調達契約の更改に伴い、ガスの調達も併せて実施する。		・調達に係る他市事例の研究	・入札の実施	・低圧電力及びガスの入札を実施				
	目標効果額		-	2,700千円	386千円	-	-		
所管課	施設再編室	区分	C 各課の取組み	実施責任者	施設再編室課長	評価者	行革担当部長	評価周期	四半期ごと
実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)		
今年度の目標			計画	実施方針の決定					
令和2(2020)年度	・低圧電力及びガスを入札を実施	年間実施項目	① 包括委託の検討に併せ、実施方針を決定	計画	実施方針の決定				
			② 仕様書案の作成	実績		未実施	包括委託(成果連動型)との比較準備	包括委託(成果連動型)断念	
			③ 入札実施(成果連動型民間委託契約の動向により実施判断)	計画			仕様書案作成		
			④	実績			未実施	ガス入札への勉強会	仕様書案作成
			⑤	計画			予算要求	入札	
目標効果額	実績効果額	計画			未実施	予算要求			
386千円	29,432千円	実績							
進捗評価点	目標評価点	振返り	ガス契約については入札で検討を進めていくが、入札の導入に伴い別の保守契約に影響を及ぼす可能性があるため、入札対象物件に加えるかの判断が難しく、仕様書作成が課題である。	進捗評価	未着手 0	計画通りに進んでいない 1	計画通りに進んでいない 1		
2 / 9	3 / 3	コメント	コロナ渦でもあり未実施だが、状況に応じて実施に努めること			段階を踏んで方向性を固めていくこと	予定通りの進捗		

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3

「ほぼ計画通り」・・・2

「計画通りに進んでいない」・・・1

「未着手」・・・0

◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3

「目標値の80%以上」・・・2

「目標値の80%未満」・・・1

「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

		方針2	⑤・2	項目	庁舎管理業務員の業務委託						
5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017)年度	H 3 0 (2018)年度	R 1 (2019)年度	R 2 (2020)年度	R 3 (2021)年度				
実施内容	庁舎管理業務員について、業務委託化を検討する。	目標	・他市事例の研究	・課題抽出 ・庁内調整	・実施に向けた調整、協議、規定整備等、準備が整い次第実施						
		目標効果額	-	検討後に設定	-	-	-	-	-		
所管課	人事室	区分	C 各課の取組み	実施責任者	人事室課長	評価者	行革担当部長	評価周期	四半期ごと		
実施内容と振返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)				
今年度の目標			計画	課題整理							
令和2(2020)年度	・実施に向けた調整、協議、規定整備等、準備が整い次第実施	年間実施項目	①	包括管理委託の検討結果を踏まえた課題整理	実績	未実施	委託について組合と共有	一定、課題整理	課題整理		
			②	費用対効果の検討及び実施判断	計画	費用対効果の検討					
					実績	未実施	未実施	未実施	未実施		
			③		計画						
			④		実績						
目標効果額	実績効果額	⑤		計画							
	-	-		実績							
進捗評価点	目標評価点	振返り	障がい者雇用率の経過措置が令和3年2月末日をもって終了するため、3月から法定雇用率が2.5%から2.6%となることから、委託することにより、法定雇用率の達成がより厳しくなること、委託業者ではできない業務が発生するため、市民サービス低下が委託時の懸念点である。	進捗評価	未着手 0	計画通りに進んでいない 1	計画通りに進んでいない 1	計画通りに進んでいない 1			
3 / 12	-			コメント	コロナ渦でもあり未実施だが、状況に応じて実施に努めること	まずは組合との協議を進めていくこと	課題に対する具体的な費用対効果の検証を行うこと。	課題に対する具体的な費用対効果の検証を行うこと。			

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017)年度	H 3 0 (2018)年度	R 1 (2019)年度	R 2 (2020)年度	R 3 (2021)年度	
実施内容	草刈及びスクリーン清掃業務の委託化を検討する。	目標	・実施に向けた検討	・費用対効果の検討	・技能労務職のあり方の検討を踏まえ、実施に向けた調整をはじめ、準備が整い次第実施			
		目標効果額	-	検討後に設定	-	-	-	
所管課	人事室及び他所管課	区分	C 各課の取組み	実施責任者 人事室課長	評価者	行革担当部長	評価周期 四半期ごと	
令和2(2020)年度	実施内容と振返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)	
	今年度の目標	① 技能労務職の職のあり方検討(継続)	計画	業務の見直し及び全庁的な協力体制について協議を実施		庁内協議	組合協議	採用計画反映
	・現業職のあり方の検討を踏まえ、実施に向けた調整をはじめ、準備が整い次第実施		実績	未実施		庁内協議	他市状況調査	組合交渉
		計画						
		実績						
		計画						
		実績						
		計画						
		実績						
		計画						
実績								
目標効果額	実績効果額	④						
-	-	⑤						
進捗評価点	目標評価点	振返り	進捗評価	未着手 0	計画通り 3	計画通り 3	未着手 0	
6 /12	-		コメント	コロナ渦でもあり未実施だが、状況に応じて実施に努めること	予定通りの進捗	予定通りの進捗	組合協議等の難題はあるが、引き続き検討を続けること	

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

方針2	⑥・1	項目	事務事業等にかかる広域連携の推進
-----	-----	----	------------------

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017)年度	H 3 0 (2018)年度	R 1 (2019)年度	R 2 (2020)年度	R 3 (2021)年度					
実施内容	【旧項目】「事務事業にかかる広域化共同処理の推進」を終了し、2019年度から項目及び実施内容を変更しました。※変更前の実施内容は、2018年度のシートをご覧ください。	目標	【旧項目】「事務事業にかかる広域化共同処理の推進」での実施目標									
	平成30年12月に大阪府が取りまとめた「広域連携に関する研究」報告書の内容を踏まえつつ、広域連携可能な事務事業等に関し、大阪府及び近隣市との研究を行う。		・他市事例の研究 ・対象事例の洗い出し	・近隣市の状況と意向の把握 ・対象業務のうち可能性のあるものを抽出	・近隣市の状況と意向の把握 ・実施に向けた意見交換の開始							
所管課	秘書政策課及び他所管課	区分	B 課を超えた取組み	実施責任者	評価者	副市長	評価周期 四半期ごと					
令和2(2020)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)		
	今年度の目標		年間実施項目	①	北河内ブロック会議を通じた近隣各市の状況把握		計画					ブロック会議
	・近隣市の状況と意向の把握 ・実施に向けた意見交換の開始	②		寝屋川市との広域的な取組みに関する研究		計画	寝屋川市と研究会開催			研究会		研究会
		③		大東市との広域的な取組みに関する研究(駅前再整備等)		計画	大東市と連携会議開催				連携会議	
		④				計画	大東市との連携会議及び駅前整備に係る調整				実施	
		⑤				計画						
	目標効果額	実績効果額										
	進捗評価点	目標評価点	振り返り	進捗評価	ほぼ計画通り	2	ほぼ計画通り	2	計画通り	3	計画通りに進んでいない	1
	8/12	—		コメント	寝屋川との取組についてコロナ影響により未実施だが、状況に応じて実施に努めること	ほぼ予定通りの進捗	予定通りの進捗	次年度も引き続き研究を続けること				

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	R 1 (2019) 年度	R 2 (2020) 年度	R 3 (2021) 年度					
実施内容	※2019年度までの実施目標としていた「処理区統合に係る管渠施設の整備」を2020年度まで延長しました。	目標	・処理区統合に係る管渠施設の整備			【管渠施設の整備を1年延長して2020年度まで実施】		・処理区統合				
	下水道事業における処理区統合を推進する。	目標効果額	-	-	-	-	-					
	所管課	区分	C 各課の取組み	実施責任者	下水道課長	評価者	行革担当部長	評価周期	四半期ごと			
実施内容と振返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)					
令和2(2020)年度	今年度の目標		① 管敷設工	計画	設計・協議		施工					
	・処理区統合に係る管渠施設の整備 ・処理区統合に係るポンプ場施設の整備	年間実施項目	② ポンプ場化工事(日本下水道事業団との協定に基づく委託)	計画	協定に基づき、日本下水道事業団が施工							試験
				実績	設計・協議		入札	施工		施工	完成	
	目標効果額	実績効果額	③	計画	施工		施工		施工		施工	
				実績								
	-	-	④	計画								
				実績								
	進捗評価点	目標評価点	振返り	一部工事の入札が不調となり、全体工程に遅れが生じたため圧送試験は行えず、来年度第1四半期に試験実施することとしたため、圧送開始来年6月1日予定。	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	2
					コメント	予定通りの進捗		予定通りの進捗		予定通りの進捗		概ね予定通りの進捗

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

		方針2	⑥・3	項目	し尿処理の広域化の推進											
5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017)年度	H 3 0 (2018)年度	R 1 (2019)年度	R 2 (2020)年度			R 3 (2021)年度							
実施内容	※2019年度から実施内容を変更 ※変更前の実施内容は、2018年度のシートをご覧ください。		【旧実施内容での実施目標】													
	し尿希釈放流施設の流域下水道処理施設内への共同設置をめざして、大阪府、近隣市と共に検討を行う。		・他市事例の研究		・大阪府汚水処理事業の広域化・共同化検討会での検討		・関係市との協議、調整									
	目標効果額		-		-		-		-		-					
所管課	生活環境課及び下水道課		区分	B 課を超えた取組み	実施責任者	評価者			副市長		評価周期	四半期ごと				
実施内容と振り返り				月	第1四半期			第2四半期(上半期)			第3四半期			第4四半期(下半期)		
令和2(2020)年度	今年度の目標		年間実施項目	①	大阪府汚水処理事業の広域化・共同化検討会での検討	計画					会議					会議
				実績					会議							会議 議題に無
				②	関係市(門真市・寝屋川市)との協議、調整	計画				会議						会議
				実績					会議							会議
				③		計画										
				実績												
				④		計画										
				実績												
	目標効果額			実績効果額	⑤		計画									
					実績											
進捗評価点	目標評価点	振り返り	次年度も引き続き、関係市との協議も含め、大阪府汚水処理事業の広域化、共同化検討会での検討を行う。	進捗評価	計画通り			3			ほぼ計画通り			2		
5 / 6	-	コメント		予定通りの進捗						概ね予定通りの進捗						

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

方針3	③	項目	執務環境のあり方の検討
-----	---	----	-------------

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017)年度	H 3 0 (2018)年度	R 1 (2019)年度	R 2 (2020)年度	R 3 (2021)年度		
実施内容	集中して事務処理を行える環境を整えることで、業務処理効率の向上を図る。	目標	・他市事例の研究	・課題抽出 ・庁内検討	・随時実施				
		目標効果額	-	検討後に設定	-	-	-		
所管課	施設再編室及び人事室	区分	A 全庁的取組み	実施責任者	行革担当部長	評価者	行革推進本部	評価周期	半年ごと
令和2(2020)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)		
	今年度の目標	①	計画	1回目アンケート実施 結果報告	改善アクションの実施	2回目アンケート実施 結果報告	3回目アンケート実施 結果報告		
	・随時実施		実績	アンケート実施	結果報告	各部課で話し合いの機会の設置	アンケート実施	結果報告	各部課で話し合いの機会の設置
		②	計画	P Tによる検討		予算要求	導入に向けた準備		
		③	計画	未実施					
		④	計画	東別館1階、付属棟の環境整備			東別館環境改善工事に伴う不要物整理		
		⑤	計画	入札			工事施行		完成
	目標効果額	実績効果額	入札		随時工事⇒随時完成				
	-	-	計画						
	進捗評価点	目標評価点	進捗評価	計画通りに進んでいない 1	計画通りに進んでいない 1	ほぼ計画通り 2	ほぼ計画通り 2		
6 /12	-	コメント	コロナ渦であることや当初計画外であった④もあり他に遅れが生じているが、状況に応じて進めていくこと。			年度途中で実施することとなった④の実施により東別館の執務環境は大きく改善できた。			

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	R 1 (2019) 年度	R 2 (2020) 年度	R 3 (2021) 年度					
実施内容	ICTを含めた窓口業務効率化を検討する。 ※2018年度末 マイナンバーカード交付率 12.0% 証明書窓口交付率 100%	目標	・他市事例の研究	・費用対効果の検討 ・課題抽出	・実施後は、交付率向上のための対応策を随時実施							
		目標効果額	-	-	-	-	-					
		所管課	市民課、田原支所及び他所管課	区分	B 課を超えた取組み	実施責任者	市民生活部長	評価者	副市長	評価周期	四半期ごと	
実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)					
今年度の目標			計画	広報・出張受付等	広報・出張受付等	広報・出張受付等	広報・出張受付等					
令和2(2020)年度	マイナンバーカード 交付率29% 証明書窓口交付率80% ・交付率向上のための 対応策を随時実施	①	計画	マイナンバーカード、コンビニ交付普及促進	計画	広報・出張受付等	広報・出張受付等	広報・出張受付等	広報・出張受付等			
			実績		実績	広報	広報	広報	休日受付(本庁)	広報	休日受付(本庁)	休日受付(田原支所)
		②	計画	オンライン証明発行を利用した市民向け利便性向上の取り組み	計画	証明書追加の調査・研究	証明書追加の調査・研究	証明書追加の調査・研究	証明書追加の調査・研究	広報・周知等	次年度実施に向けた協議等	
			実績		実績	証明書追加の調査・研究	証明書追加の調査・研究	証明書追加の調査・研究	調査・研究	転出届 オンライン化 の実施・周知	次年度も引き続き社会実験による実施を行うことで合意済、オンライン発行できる証明書の追加に努める	
		③	計画	キャッシュレス決済の調査・検討	計画	庁内検討・業者調査	庁内検討・業者調査	庁内検討・業者調査	広報・周知	実施検討		
実績			実績	庁内検討・業者調査	庁内検討・業者調査	庁内検討・業者調査	田原支所にて調査・研究・周知	田原支所にて実施				
目標効果額	実績効果額	計画		実績								
-	-	計画		実績								
進捗評価点	目標評価点	進捗評価	ほぼ計画通り	2	計画通り	3	計画通り	3	ほぼ計画通り	2		
10 / 12	1 / 3	振り返り	令和3年3月31日現在 マイナンバーカード交付率30.85% 証明書窓口交付率94.36% コロナ禍で出張受付は実施できなかったが、主に市役所(市民課)での休日受付を行った結果、マイナンバーカード交付率が向上した。来年度についても市役所での休日受付及び夜間受付を行い引き続き交付率向上に向けて取り組んでいく。	コメント	概ね予定通りの進捗	予定通りの進捗	予定通りの進捗	概ね予定通りの進捗				

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容				年度	H 2 9 (2017)年度	H 3 0 (2018)年度	R 1 (2019)年度	R 2 (2020)年度	R 3 (2021)年度			
実施内容	<p>2019年度から文書電子化比率を数値目標に設定し、各年度の実施目標を変更しています。 ※変更前は、2018年度のシートをご覧ください。</p> <p>起案書のフォーマット統一化による電子起案の推進と現存する紙文書の電子化を行う。</p> <p>（※2018年度末 文書電子化比率 現年 70.3% 過年度リスト化率 20.2%）</p>				目標	・ 廃棄文書の選別と廃棄	・ 起案文書の統一 ・ フォーマットの作成及び運用開始	・ 保存する紙文書の適切な廃棄、整理、リスト化 ・ 保存する紙文書の電子化に係る他市事例の研究	・ 文書管理システムの更新 ・ 保存する紙文書の電子化に向けた準備(リスト化等)	・ 電子化比率向上策を随時実施 ・ 保存する紙文書の電子化の実施		
					目標効果額	-	-	-	-	-		
					所管課	総務課及びその他所管課	区分	A 全庁的取組み	実施責任者	行革担当部長	評価者	行革推進本部
令和2(2020)年度	実施内容と振返り			月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)	
	今年度の目標			①	簿冊情報のリスト化	計画	簿冊化状況確認		状況に応じて簿冊化再依頼			
	・ 文書管理システムの更新 ・ 保存する紙文書の電子化に向けた準備(リスト化等)	年間実施項目	①	計画	簿冊化状況確認	実績	未実施		未実施		未実施	
				②	文書の保存期間の見直し及び紙文書の適切な廃棄処理	計画	年度更新に伴う廃棄処理	電子文書廃棄検討				
	③	全庁的な文書保存期間に係る基準の見直し	計画	新基準の検討								
	④	電子決裁推進に効果的な次期文書管理システムの検討	計画	検討会・仕様検討	補正予算要求	上程	業者検討					
	目標効果額	実績効果額	⑤	計画	未実施		未実施		スケジュール変更とリース契約		情報化推進委員会実施 庁内検討委員会立上	
	-	-	⑤	実績	未実施		未実施		スケジュール変更とリース契約		情報化推進委員会実施 庁内検討委員会立上	
	進捗評価点	目標評価点	令和3年3月末現在 文書電子化比率 現年 78.2% 過年度リスト化率 20.6%	進捗評価	計画通りに進んでいない	1	計画通りに進んでいない	1	計画通りに進んでいない	1	計画通りに進んでいない	1
	4 / 12	1 / 3	振返り 今年度は時期文書管理システムについて検討委員会を立ち上げることができたが、議論を深めることができなかった。現システムの契約延長により、令和4年12月からの次期システム稼働に向けて全力を注ぎたい。文書電子化についても現年度率向上に努めたい。	コメント	コロナ渦でもあり未実施が多いが、少しずつでも優先順位をつけて進めること				コロナ渦の中ではあるが、過去2年間未着手となっている項目もあるため、取組を進めること。			

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

		方針3	④・4	項目	会議資料（例規集）等の電子化						
5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017)年度	H 3 0 (2018)年度	R 1 (2019)年度	R 2 (2020)年度	R 3 (2021)年度				
実施内容	タブレット端末の導入による業務の効率化を検討する。	目標	・他市事例の研究	・費用対効果の検討 ・課題抽出	・準備が整い次第実施						
		目標効果額	-	検討後に設定	-	-	-				
所管課	総務課及びその他所管課 ※2019年度から所管課変更【旧：総務課】	区分	B 課を超えた取組み	実施責任者	総務部長	評価者	副市長	評価周期	四半期ごと		
実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)				
今年度の目標			①	運用・効果検証	運用・効果検証						
令和2(2020)年度	・準備が整い次第実施	年間実施項目	①	運用・効果検証	計画	運用・効果検証					
			実績	テレワーク実施	モバイルPC増設	運用実施	運用実施（自宅PC活用テレワークも実施）				
目標効果額	実績効果額	②	②	議会ペーパーレス化（議会事務局と連動）想定	計画	仕様検討		入札導入		運用・効果検証	
			実績	仕様検討	仕様、運用ルール検討中	入札	契約	ルール策定・導入検証			
-	-	③	③		計画						
			実績								
-	-	④	④		計画						
			実績								
進捗評価点	目標評価点	振り返り	⑤		計画						
			実績								
8 / 12	-		進捗評価	計画通り	3	計画通りに進んでいない	1	ほぼ計画通り	2	ほぼ計画通り	2
			コメント	予定通りの進捗		予定通り入札導入を実施すること		遅くとも年度内に導入、運用開始すること		遅れつつもなんとか導入できたため、次年度本格運用を進めること	

○進捗評価：「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0
 ◆目標評価点：「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017)年度	H 3 0 (2018)年度	R 1 (2019)年度	R 2 (2020)年度	R 3 (2021)年度			
実施内容	議事録作成システムまたはアプリ導入による、業務の効率化を検討する。	目標	・他市事例の研究	・費用対効果の検討 ・試験導入の実施 ・課題抽出	・実施に向けての調整をはじめ、準備が整い次第実施					
		目標効果額	-	検討後に設定	-	-	-			
所管課	総務課及び議会事務局	区分	B 課を超えた取組み	実施責任者 総務部長	評価者	副市長	評価周期 四半期ごと			
実施内容と振返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)			
令和2(2020)年度	今年度の目標		① 運用	計画	運用					
	・実施に向けての調整をはじめ、準備が整い次第実施	年間実施項目	② 効果検証・課題抽出	計画	効果検証・課題抽出					
				実績	契約	運用	運用実施	運用実施	運用実施	
			③ 最適なシステムの導入に向けた検討	計画	実証実験準備	実証実験		課題抽出 来年度運用法 検討	予算 要求	来年度に向けた運用方法検討
				実績	実証実験準備		各業者打ち合わせ		検討	要求
	目標効果額	実績効果額	④	計画						
	-	-	⑤	計画						
				実績						
	進捗評価点	目標評価点	進捗評価	ほぼ計画通り	2	ほぼ計画通り	2	計画通り	3	
	10 /12	-	振返り	以前より導入済みの議事録支援システムの利用については、一定効果が得られたが、令和3年度はこれに加え、リアルタイム文字起こしのシステムも導入という方向性で進めていくこととなった。	コメント	コロナの影響もあるが、状況に応じて実証実験を進めていくこと	コロナの影響もあるが、実証実験を進めていくこと	予定通りの進捗	予定通りの進捗	

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

		方針3	④・9	項目	施設予約システムの導入											
5年間の実施項目及び内容		年度	H29(2017)年度	H30(2018)年度	R1(2019)年度	R2(2020)年度				R3(2021)年度						
実施内容	施設予約システムの導入による業務効率化を検討する。	目標	・他市事例の研究 ・導入に向けた課題抽出	・費用対効果の検討	・実施に向けての調整をはじめ、準備が整い次第、順次実施											
		目標効果額	-	検討後に設定	-	-				-						
所管課	施設再編室、生涯学習推進課及びその他所管課 ※2019年度から所管課変更 【旧：生涯学習推進課及びその他所管課】	区分	B 課を超えた取組み	実施責任者	総務部長			評価者	副市長			評価周期	四半期ごと			
実施内容と振返り			月	第1四半期		第2四半期(上半期)			第3四半期			第4四半期(下半期)				
今年度の目標			①	庁内検討会の開催	計画	開催	開催	開催	開催	開催	開催	開催	開催	開催		
・実施に向けての調整をはじめ、準備が整い次第、順次実施	年間実施項目	②	運用のルール整備	計画	課題抽出		ルール整備		ルール見直し							
			実績	課題共有		課題共有		運用状況共有								
③	仮予約できる施設の順次拡大	計画	拡大の準備		拡大											
		実績	進捗共有		対象施設拡大											
④	口座振替機能の準備	計画	導入準備		導入ルール検討		導入ルール検討									
		実績	未着手		QR決済やクレジット払い等、来庁不要な決済方法を検討		QR決済やクレジット払い等、来庁不要な決済方法を検討									
目標効果額	実績効果額	⑤	計画													
-	-	実績														
進捗評価点	目標評価点	進捗評価	計画通り	3	計画通りに進んでいない	1	ほぼ計画通り	2	計画通り	3						
9/12	-	振返り	決済方法として口座振替に限らず、関係課とキャッシュレス化の推進及び来庁不要な決済方法を進めていく方向性を共有したが、利害関係者との調整や運用方法の検討などが新たな課題として挙がってきた。		コメント	予定通りの進捗	課題を解消し、進めていくこと	来庁不要な決済方法を検討していくこと	引き続き来庁不要な決済方法を検討していくこと							

○進捗評価：「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0
 ◆目標評価点：「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017)年度	H 3 0 (2018)年度	R 1 (2019)年度	R 2 (2020)年度	R 3 (2021)年度			
実施内容	行政手続きにおける押印を可能な限り廃止することにより、市民の利便性向上、業務効率化を図る。	目標	2020年度(第3四半期)からの実施項目			現状把握の上、根拠のないものは廃止	法で必要なもの以外すべて廃止			
		目標効果額				-	-	-	-	-
所管課	総務課、秘書政策課及びその他所管課	区分	A 全庁的取組み	実施責任者	行革担当部長	評価者	行革推進本部	評価周期	半期ごと	
実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)			
令和2(2020)年度	今年度の目標		計画				他市事例等の研究			
	・他市事例等の研究 ・現状の精査	① 他市事例等の研究（国の押印廃止（発出予定）のガイドライン研究含む）	計画					情報収集中	情報収集、国ガイドライン発出	当市の廃止基準発出
			実績							
		② 現状の精査、状況把握、全庁通知の発出、取りまとめ	計画					各課照会等による現状の精査		
			実績					規則改正方法検討、窓口在り方会参加、議会情報提供	全庁へ押印廃止していく旨通知発出	全庁へ押印様式状況把握照会中
		③ 必要に応じて規則改正等の実施と順次廃止	計画					規則改正等、順次廃止		
	実績						条例改正、根拠のない押印の廃止実施中			
	目標効果額	実績効果額	計画							
	-	-	実績							
	進捗評価点	目標評価点	振り返り	進捗評価				ほぼ計画通り	2	ほぼ計画通り
コメント							コロナ渦により、現状把握に遅れが生じているが、順次廃止にむけて取り組みは進んでいる			

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0